



■和気アルプス縦走(和気富士・神ノ上山)

- 山 行 日：4月26日(日)
- 参 加 者：La 澤田(律) SLa 垣内 有本 嶋澤 島本 瀬尾 藤本
Lb 待場 SLb 森本 金島 澤田(卓) 坂田(俊) 清水 山本(清)
- 行 動 記 録：宝殿駅 7:40 発－鵜飼谷温泉 P (9:00 着) 9:15 発～和気登山口 9:40 発～和気富士(10:00 着) 10:05 発～岩山(10:50 着) 10:55 発～前ノ峰(11:00 着)～竜王山分岐(11:30 着) 11:35 発～奥ノ峰(12:05 着)～神ノ上山(12:45 着) 13:20 発～下山路分岐(13:45 着)～槍ヶ峰(13:50 着) 13:55 発～鵜飼谷温泉下山口(14:30 着)－鵜飼谷温泉 16:00 発－宝殿駅(17:15 着)

◆◆和気アルプス

有本

好天気のもと高砂から車3台に分かれて和気へと出発しました。

鵜飼谷温泉の駐車場に無事到着、そこから道路を登山口まで歩き、登山口から出発です。

和気富士までは木立の中、木の階段もあり、一般コースで登りやすかった。和気富士から奥の峰分岐までは長く、岩場あり、木立の中ゆっくりしたコースもあり、アップ、ダウンを繰り返し変化に富んだコースで、ところどころ見晴らしもよく、川がきれいに見え最高でした。分岐から、いよいよ神ノ上山へ向けて、疲れてはいましたが、ゆっくりしたペースで、無事山頂に到着しました。

春は「山笑う」と言われるようで新緑が生き生きして、本当に山が笑っているようでした。

山頂で暫く休憩して今度は鵜飼谷温泉へ下りです。リーダーさんより「急な坂がありますので、気をつけて、ゆっくり下りて下さい」と言われ、高御位の百間岩を少し小さくした岩場で、高御位で慣れているのか、割とスムーズに下りる事ができました。

最近ようやく山行にも慣れてきて、そろそろ初心者マークを、はずしてもいいかも(笑) 体力も少しずつ、ついてきて、これからは、色々な山にチャレンジしたいと思います。リーダーさん、皆さん、ありがとうございました。



■熊山(下山後ビールで喉を潤す)

- 山 行 日：4月29日(月)(水・祝)
- 参 加 者：L 和田文夫 L 佐々木 有本 大谷 川上 嶋澤 田中(重) 田中(美) 田中(由) 中村 藤本 三木(悦) 村上 山本(清)
- 行 動 記 録：JR 姫路駅 8:00 発－JR 熊山駅(9:00 着) 9:15 発～熊山登山口(9:25 着)～衣服調整(9:45 着) 9:50 発～東屋(10:20 着) 10:25 発～赤松峠(10:45 着)～湧水(11:05 着)～熊山神社(11:10 着) 11:15 発～東屋 休憩所 (11:25 着) 11:45 発～弓削下山口(12:50 着・フットライト)～JR 万富駅(13:40 着)－キリンビール岡山工場(13:45 着) 15:25 発－JR 万富駅(15:30 着) 15:35 発－JR 姫路駅(16:45 着)

◆◆山より楽しみにした一番搾り BEER

三木

熊山は、以前参加出来ずに見送った山だったが今回は希望が叶った。

下山後キリンビールの工場見学がある。山行申し込みをした時からビールのコマーシャルを見るたび心待ちにした。「下山後のビールは格別」であることを、高御位山遊会に入会してから覚えた。作り立てのビールは美味しいと聞きますます楽しみにした。

ビールが主役で山は「おまけ」と思っていたが、歩いてみれば熊山はとて素晴らしいところであった。この季節、新緑、鳥の声、花の匂いを感じながら山歩きができた。岡山の山は歩く機会が少なくて良さを知らなかったが、これを機会に岡山の山をもっと歩けたらいいなあと感じた。

JR姫路駅から岡山行きの黄色の普通電車でコトコトと1時間でJR熊山駅に着いた。地形図を見ると駅の直ぐ側まで山裾が迫るように、熊山駅から民家を抜けるとすぐ登山口があった。

大きな「熊山登山口」の看板がある熊山駅コースを進み、標高509mの山頂にある熊山神社を目指した。神社の南に下りたら熊山遺跡やその周辺には瀬戸内の景色が広がる良い展望所があり、立派な展望台と遺跡の管理棟があった。六甲山と同様に山頂までドライブウェイがあり設備は整っていた。気軽に登れるからか、ここでは多くの人が景色を楽しんでいた。

下山後の工場見学の時間の都合で、三角点頂上(507.8m)への立ち寄りにはパスした。次回行くことにしよう。展望所で瀬戸内の景色を見ながら短時間で昼食を済ませ。「ここでもっとゆっくり景色を楽しみたい！」の声も聞こえたが、万富駅までの下山時間を逆算したらゆっくりも出来なかった。昼食後はビールを目指して、ひたすら弓削コースを下山した。

弓削コースでは一級河川の吉井川が眼下に見え、その雄大な流れは見応えがあった。

ビールの力か？皆さんが健脚なのか？Lの心配をよそに、万富駅での工場の送迎バスの時間に十分に間に合いました。



ほろ酔い気分で山を語りながら姫路まで帰りました。

キリンビアパークでの工場見学の後、待ちに待った、出来立て一番搾りのビールで乾杯！

みんな美味しそうに飲んでいました。Sさん、Yさんと一緒に乾杯出来なかったのは残念だったが、熊山もよし、ビールも最高のいい山行でした。計画ありがとうございました。

■伯耆大山(はじめてのテント泊 第2回目)



- 山 行 日：5月3日(日)～4日(月・祝)
- 参 加 者：L尾越 SL上田 赤木 塩津 藤本 宮崎 渡辺(和)
- 行 動 記 録：JR宝殿駅9:15発一蒜山SA(11:10着)11:30発一夏山登山道登山口
(5月3日) (13:15着)13:50発～二合目(14:23着)14:28発～四合目(14:55着)
15:05発～六合目避難小屋(15:35着)15:45発～八合目(16:25着)
16:30発～頂上避難小屋(16:50着)
(5月4日)：頂上避難小屋7:30発～六合目避難小屋(8:35着)8:45発～三合目(9:20着)9:25発～夏山登山道登山口(10:10着)

◆◆初めてのテント泊(避難小屋泊)に参加して

宮崎

大山(伯耆富士)は、私が島根に帰省する時にいつも車窓から眺めている大好きな山・そして山歩きにはまりだしたきっかけになった山です。

前々から山小屋泊とかテント泊の魅力は聞いていたので申し込んだ。山行や歩荷トレ(14キロは担げるようになった)など参加してこの日を心待ちにしていた。

GWは山行日和！かと思いきや、天気予報は曇りのち雨。車2台で宝殿駅出発！「晴れの国おかやま」の蒜山SAでは大山を眺めつつ昼食したものの、トンネルを抜ければ大雨！鳥取県に。事故渋滞の為、予定の時間を大幅に遅れ登山口前の小屋に到着！テント泊は避難小屋泊になったものの、計画通りに出発した。夏山登山道は1合目から10合目(山頂)までである。偶数の合目で衣服調整・水分補給した。2合目あたりから私の好きなブナの林が続く。新緑がまぶしい。6合目北壁にはまだ雪が残っていて展望も良かった。残雪を踏みしめ、ガレ場と急登に汗・汗。ダイセンキャラボクの中を歩くが周りはガスがかかり真白で何も見えない。山頂に続いているであろう木道を黙々と進んだ。避難小屋に到着！

そこからパーティーの皆さんの行動が素早い！男性軍はロープを張り、濡れた雨具や小物を掛けるし、私が荷物を出したり入れたりしているその横で尾越Lや塩津さんは今夜の夕食の支度に取り掛かっていた。メニューは豚肉とキャベツの白湯鍋と2種のお酒？のあて。私は今まで日帰りの山行しか行ってなかったのでランタンを灯して、ヘッドランプを装備しての夕食にワクワクしていた。ワインと日本酒を頂きながらおしゃべりは続く。

楽しい時間はアツという間に過ぎ、シュラフに包まれ就寝。これも初体験である。外は強風が吹いていた。その音に1時間事に目が開いて熟睡は出来なかった。

朝は早く起きて、早々朝食の支度。メニューは洋食でフレンチトーストが美味しくて、朝から力が湧いてくる。集合写真を撮りに外に出る。気温は10度。今日もガスで真白で何も見えない！身支度が整い避難小屋出発、下山へ。木道も濡れていて滑りやすいし、強風が私達の横を何度も通り過ぎて行く。体感温度は零度？、ザックも重たいし体重もあるのに飛ばされるかも・・・恐怖感で体が動かない！まだ足腰が弱いのだろうか足が前に出ない！前から3番目を歩いていたのだが前方や後方の皆さんを何度も立ち止まらせてしまい、迷惑をかけてしまった。後方から「もっと足の幅広げて」のアドバイスを受け、慎重に歩く。連休とも重なり、早朝からの登山客も多かった。マナーとして上り優先は知っていたがどこで立ち止まって道を譲るか、とっさの判断がまだ出来ないことも反省です。

下山後は大山火の神岳温泉・豪田湯院の1番風呂へ。ゆっくりお湯につかり、昼食は名物の「豆腐定食」食べながら反省会です。このあたりもガスで真白で雨降り、視界も悪く車はヘッドライトをつけての走行～～ 帰りの高速道はスムーズに流れ、福崎あたりでは晴れ間が…明日からは皮肉なことに天気が回復するらしい。山頂から見る夕陽・満天の星空・ご来光と夢は膨らんでいたのですが、次回の楽しみにとっておきます。

尾越L・上田SL始め参加の皆様、2日間お世話になりました。ご一緒出来てうれしかったです。私にとっては厳しい山行でしたが楽しかったです。ありがとうございました。





■クリンソウ咲く三嶽・小金ヶ嶽に登る(女性委員会)

- 山 行 日：5月6日(水)
- 参 加 者：La瀬尾 SLa瀧原 田中(由) 平石 峯山 村上 森下 山本(清)
Lb三木(悦) SLb澤田(律) 有本 田中(美) 田羅間(易) 中村 苦瓜
平井(み)
- 行 動 記 録：多紀連山登山駐車場(9:00 着)～三嶽登山口 9:20 発～鳥居堂跡
(10:05 着)～クリンソウ自生地(10:20 着)10:40 発～三嶽山頂(11:30 着)12:10 発
～大たわ(12:45 着)12:50 発～小金ヶ嶽(14:00 着)14:10 発～小
金ヶ嶽登山口(14:50 着)

◆◆多紀連山のクリンソウに会いに

森下

5月の連休の最後の日、今日は女性委員会の三嶽・小金ヶ嶽への山行です。集合場所の播磨中央公園へ車で向かう途中、“あっ！いのしし”福崎町と加西市の境でいきなり子供のいのししが横断です。これから行く山行地は篠山です。猪が多い所だと聞いていますが、幸先がいいのか？解りませんが、女性16名がバスに乗り込み出発です。

三嶽登山口より登ります。三嶽山頂まで2.8キロの案内板。20分でも歩いたでしょうが、結構汗が噴出します。少し休憩。よく手入れのされたヒノキの登山道で150段ほ



どもあるでしょうか結構急勾配の階段です。鳥居堂跡を過ぎてまた一步一步。見えて来ました今日のメインのクリンソウ自生地です。鮮やかな赤紫の可愛い花です。登りの辛さも忘れるほどあちらこちらに沢山群生しています。しばらくこの花にくぎ付けです。

クリンソウをバックに笑顔で写真に収まりました。「クリンソウを守る会」の人々が大切に育てておられる様子に感謝しつつ、まだまだ先は遠いのでクリンソウに別れを告げ、三嶽を目指します。途中、室町時代の頃に栄えたという丹波修練道場があり、かつては法螺貝の響きと錫杖の音がこだまする信仰の山であったらしい、その道場に関連した大岳寺跡を通り、「多紀連山ふるさと自然のみち」と標識がある山道は急登りの岩山です。岩に這いつく様にして少しずつ登りました。頭上でうぐいすの鳴き声です。かわいい声で“がんばれ”と背中を押してくれます。やっと三嶽山頂に到着です。

お昼ご飯を食べ次の大たわへ出発。この間は今の時期、自然に木のアーチが出来ていて涼しくゆっくり登れました。途中、珍しい小さなピンクの花が5～6輪岩陰にそっと咲いていました。「いわかがみ」と言う花だそうです。ここからは多紀連山のアルプスの様で、鎖場やロープ等があっていままでに経験した事のない岩山で、踏み外さない様足元に細心の注意を払いながら登りました。小金ヶ嶽に無事到着。すごくしんどかったけれど大満足です。予定より少し遅れていたのでも足早に迎えのバスが待つ登山口まで下山しました。



疲れた体をほぐすべく今田温泉ぬくもりの郷で入浴し、本日の山行は無事終了となりました。お世話頂いたリーダー様と一緒にさせて頂いた皆様、有難うございました。



■森林植物園「しゃくなげ園」の石楠花を楽しむ

- 山 行 日：5月8(金)
- 参 加 者：L野村 SL三木(悦) 赤松 坂田(敬) 澤田(卓) 田羅間(易) 田羅間(勤) 中嶋
- 行 動 記 録：谷上駅9:00 発～森林公園正門(10:20 着)～森林公園東門13:25 発～布引の滝(15:25 着)15:35 発～新神戸駅(15:42 着) (ハーブ園は中止)

◆◆新緑の森林植物園

赤松

谷上駅に集合後、一路森林植物園を目指しました。五月晴れの山歩きはとても穏やかで、その都度初心者の私にとって快いものでした。

五月晴れの山路はしっとりとして気温は結構高いにもかかわらず、リーダーのゆったりした歩きと総勢8名の和気あいあいとした楽しい雰囲気歩行を楽しめるものにしてくれました(少ししんどい所がありました)。



しんどい所がありました(少ししんどい所がありました)。

植物園内では絵を描くグループ、遠足の女子高生など、周りはどこを見ても微笑ましい風景で食欲も進みました。

ゆったりした広大な園内には海外の珍しい大木と様々な青楓の美しさが心に残ります。

また、カモシカが一頭ポツンと座していたのも印象的でした。

植物園を後に布引の滝に降りてきて再び自然の美しさに出会えました。水量が多くエメ

ラルドグリーン色の滝壺の深い色は周りの若葉と好対称で感動しました。紅葉の季節を思うとワクワクします。

薫風、新緑、優しい皆様、楽しい一日をありがとうございました。

■御在所岳・国見岳(岩のオブジェとシロヤシオを楽しむ)



- 山 行 日：5月16日(土)
- 参 加 者：L待場 SL澤田(律) 赤木 井上 河合 塩津 三木(勉) 村上 山本(正)
- 行 動 記 録：宝殿駅6:18 発—四日市 JC(8:45 着)—中道登山口(9:20 着)9:35 発～キレット(10:55 着)11:00 発～富士見岩(12:16 着)12:20 発～山上公園(12:30 着・昼食)13:00 発～御在所山頂(13:15 着)13:25 発～国見峠(14:09 着)～石門(14:27 着)14:30 発～国見岳(14:35 着)14:40 発～天狗岩(14:50 着)14:53 発～国見峠(15:15 着)～籾内小屋(16:35 着)16:47 発～下山(17:30 着・477号線出合)17:45 発～四日市 JC(18:30 着)—宝殿駅(20:40 着)

◆◆岩のオブジェと花の御在所岳へ

塩津

一度は行ってみたいと常々思っていた御在所登山！数日前までは、当日も好天が続いているはずであったが、急に予報が変わり宝殿を出る時には、雨がパラパラ。少し暗い気持ちのまま出発したが、Mさんの「御在所方面の雨雲は10時半頃には通過してしまうので大丈夫」との予報に意を強くする。

3時間程掛って登山口に到着し雨支度をして中道登山口を出発、登り始めは普通の山道の様だな～と思っていたら、いつの間にか御在所名物のごろごろ岩の登りになり短い足が届かず苦勞する箇所が何ヶ所あった。遠くに見えていたロープウェイがいつの間にか頭上に見えたと思ったら突如大きな岩がもたれ合うように立っている「おぼれ石」が現れる。よくぞ倒れずに立っているものだ。折角だからと皆で間を通り抜ける。(ちょっとスリルあり)

そこかしこに咲いている可憐なイワカガミに癒されながら岩の道を登っていると、岩を積み上げたような奇岩が間近に。どうしてあんな形になったのだろう？あとであれが「地蔵岩」だと知る。そういえばお地蔵さんに見えなくもないと思った。

所々に見晴らしの良い処があつてホットしたかと思うと、クサリのかかった大小のキレットも度々通り、やっと富士見岩展望台に到着する。岩登りは、ここで終わりとのこと。ヤレヤレ！

曇っていたが36.0℃の展望だ。富士見岩と名がついているのだから、富士山が見えるのだろうか？とネットで調べてみたら、案外大きく富士山が、きれいに写っている写真を1枚だけ見つけた。小雨ふる山上公園では、自然観察センター内でゆっくり昼食をとらせていただいた。

ゲレンデを急登して御在所岳の頂上一等三角点前で記念写真を撮る。滋賀県と三重県の県境の頂上の展望も36.0℃素晴らしかった！ここまでロープウェイで来られるので人も多かった。

国見峠へ下り又登りかえして国見岳に着く。少し手前に荘厳ないでたちの石門があり、又皆でくぐりに行く。どうしてあんなに大きな岩が、うまく石の門を造っているのか・・・自然の力はすごい！国見岳からの眺めもまた素晴らしい。(紅葉の秋に来てみたい)

昨年の国見尾根を下る道は、大分荒れていて危険だという事で今回は天狗岩まで往復して峠に戻り裏道を下ることになった。昨年のコースよりましらしいが、結構厳しい岩場の下りであった。やっと見えた籐内小屋でホット一息、コーヒータイム。『1泊2食4700円、露天風呂あり』に興味をそそられ、秋に泊まりの山行はどうかと盛り上がる。

あと丸太橋を渡り、ゴロゴロの沢を歩き、山道を越えて1時間程で登山口に無事に到着！

皆様お疲れ様でした！目的のシロヤシオは時期尚早でしたが、本当に変化に富んだ面白い山で是非また登ってみたい山でした。皆様楽しい山行ありがとうございました。

